

質問に対する回答（スタートアップ提案型）

実施要領等（頁・番号）	No.	質問内容及び回答内容
		個別項目
【実施要領】 3参加資格（5）	1	質問 参加資格に必要な「地方公共団体によるスタートアップ関連業務の業務実績」につきましては、再委託先の実績も認められるでしょうか。 回答 再委託先の実績を上げる場合は、全体業務の内容、再委託の内容及び全体業務に占める割合が分かるようにしてください。
	2	質問 総額5,000千円の内訳を教えてください。 例 1位●●千円 2位●●千円 回答 賞金の内訳は受託者からの提案を踏まえ協議を行い、最終的に市が決定します。
【仕様書】 3業務概要 賞金について	3	質問 「行政課題解決型」と「スタートアップ提案型」とあるが、それぞれの事業において、コンテストは連携して行うものの、御市が提示する社会課題は異なるものが提示されると捉えてよいのか。また、スケジュールでは6月より「企業募集」となっているが、どのタイミングで御市が抱える社会課題は提示されるか教えてください。 回答 「行政課題解決型」と「スタートアップ提案型」はそれぞれの受託者が連携して、1つのコンテストとして実施していただきます。市からの社会課題の提示は「行政課題解決型」のみ実施します。「行政課題解決型」での行政課題提示は、5月末を想定しています。「スタートアップ提案型」においては、一般部門と海洋産業部門を設けますが、社会課題はスタートアップ側で仮説立てし、その解決策としてのビジネスプランを提案していただきます。
	4	質問 コンテスト運営の役割分担における【◎】【○】の差は何か教えてください。 回答 ◎＝主務、責任者、○＝スタッフ、サポート です。 両者が○となっているものは、それぞれの受託者において同等に実施するものとなります。
【仕様書】 4事業イメージ及びスケジュール (案)	5	質問 「海洋産業」とは具体的にどういったものを指しているのでしょうか？ 回答 一般に、海洋産業とは、 ①専ら海洋で仕事・活動をしている産業(漁業、海運、海洋土木、マリンレジャー など) ②専ら海洋で使うモノやサービスを提供している産業（船舶製造・修理、船用機器製造、水中ロボット製造 など） ③専ら海洋から採取・生産された海洋資源を使って仕事・活動をしている産業（水産食品製造 など） を指します。 特に、静岡市の「場の力」である駿河湾や清水港を実証フィールドとして活用しながら、デジタル技術を組み合わせることで、海洋産業の高度化、高付加価値化を目指す「B X（ブルーTRANSフォーメーション）」の推進につながるものを想定しています。 (例：スマート漁業や水中ドローンに関連する技術開発など)
	6	質問 スタートアップを募集する際の静岡市の課題は貴庁から掲示があるのでしょうか。それとも地域課題＝静岡市内の企業が抱えている課題という整理で良いでしょうか。また、地域企業とのマッチングを行う際に、仮に上記の回答が地域課題＝静岡市内の企業が抱えている課題ではない場合、何をテーマにマッチングを行うのでしょうか。 回答 本業務において、静岡市から課題の提示はありませんが、一般部門と海洋産業（ブルーTRANSフォーメーション）部門を設けていただきます。※課題提示は「行政課題解決型」にて実施します。 「静岡市を含め、地域社会が抱えると想定される社会課題」をスタートアップ自らが仮説立てし、その解決策としてビジネスプランを提案していただきます。その中で、市内企業が抱える課題が挙げられる可能性はありますが、それに限るものではありません。マッチングは、スタートアップのビジネスプランの内容に応じて適切な協業先を見つけるために行うものです。
【仕様書】 5業務内容 (3)企業の募集、マッチング、審査会の開催、伴走支援	7	質問 マッチング＝スタートアップ10社と地域企業10社のマッチング、共創チーム＝入賞したスタートアップ5社＋地域内の事業者・研究機関・団体と理解した場合、共創チームには事前にマッチングした企業が入ることは必須でしょうか。 回答 必須ではありません。ただし、事前マッチングにおいては、効果的な伴走支援となるような相手先（共創チームの立上げ・スタートアップの提案のブラッシュアップ・社会実装に向けた協力者やその候補者）をマッチングするよう努めてください。

質問に対する回答（スタートアップ提案型）

【仕様書】5業務内容 (3) 企業の募集、マッチング、審査会の開催、伴走支援	8	質問	一次審査と二次審査では審査員が入れかわるのでしょうか？一次審査でのフィードバックを改善して二次審査に臨んだ場合審査員が異なるとフィードバックの整合性が取れなくなる場合があるかと想定しています。
		回答	一次審査においては、社会課題の設定が適切か、解決策として優れたビジネスプランかを審査します。 二次審査においては、実効性・実現性や地域への影響力等を主に審査します。 審査員は上記の内容を適切に審査できる者とし、受託者からの提案を踏まえ協議を行い、最終的に市が決定します。
	9	質問	社会実装に向けた伴走支援時には何を社会実装するのでしょうか。二次審査時に応募したビジネスプランでしょうか。それともスタートアップが持つアセットの地域実装でしょうか。
		回答	二次審査にて入賞したビジネスプランです。 スタートアップが有するアセットは、ビジネスプランの中に組み込まれているものとして想定しています。
【仕様書】5業務内容 (5) 令和5年度静岡市アクセラレーションプログラム採択者への実装支援	10	質問	令和5年度静岡市アクセラレーションプログラム採択者への実装支援について、この5社は地域企業とマッチングしたスタートアップ5社とは別で実装支援で何ができるかを提案するという整理でよいでしょうか。仮に本事業のマッチングに採択された場合はそちらで推進するという整理でよいでしょうか。
		回答	そのとおりです。
【仕様書】5業務内容 (6) 落選者へのフォローアップ	11	質問	落選者は40社のことを指すのでしょうか。入賞に漏れた5社のことを指すのでしょうか。
		回答	一次審査を通過したものの二次審査で落選した事業者を想定していますが、それ以上支援するという提案を妨げるものではありません。
【仕様書】5業務内容 (9) 市内リソースの可視化	12	質問	データベースのイメージをご教示いただけますでしょうか。WEBページに掲載するイメージか、クローズドなイメージか、その他何か大掛かりなものを想定されていますでしょうか。
		回答	本業務においては、市内リソースを調査・整理しまとめた成果のクローズドなデータベースを想定しています。ただし、翌年度以降はWEBページへ掲載するとともに、将来的には今後構築するスタートアップエコシステムでの有効活用を見据えています。
【仕様書】5業務内容 (9) 市内リソースの可視化	13	質問	市内リソースの可視化について、この提言は誰が誰に行うもののでしょうか。参加するスタートアップ企業が静岡市へ提言するのでしょうか。それとも、受託者が静岡市へ提言するのでしょうか。
		回答	受託者が市に対して行う提言は、「スタートアップによる地域の新たな社会課題解決の取組を活性化させるために必要な施策」となります。 市内リソースの可視化は、市への提言ではなく、受託者が本事業の中でリソースの調査を行いリスト等で可視化するために必要な業務となります。
【仕様書】5業務内容 (10) 成果報告 ①	14	質問	成果発表会は誰が出場するのでしょうか。採択者5社のみでしょうか。昨年度アクセラ採択者5社も含むのでしょうか。
		回答	採択者5社は必須となりますが、成果報告の趣旨に沿うものであれば、対象者を制限するものではありません。 なお、成果発表会は、「経商産政委第2号 スタートアップと地域の共創コンテスト（行政課題解決型）運営業務」と合同で実施していただきます。